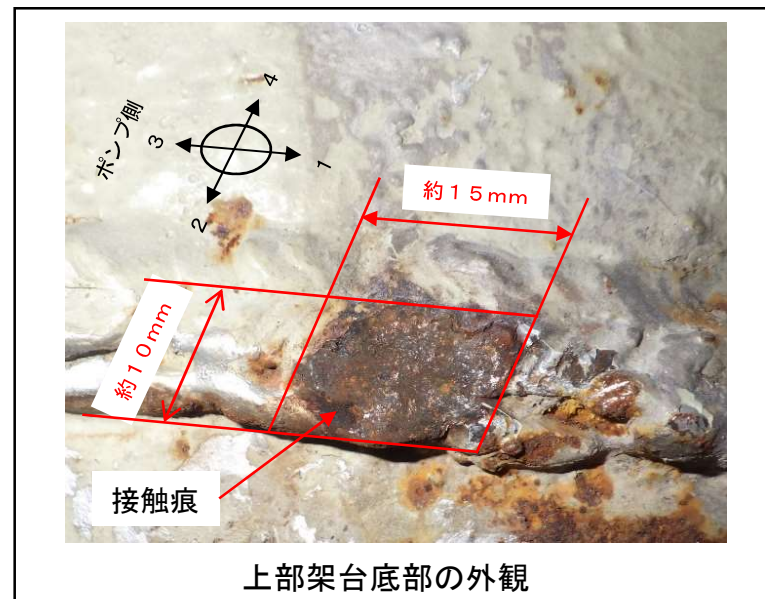
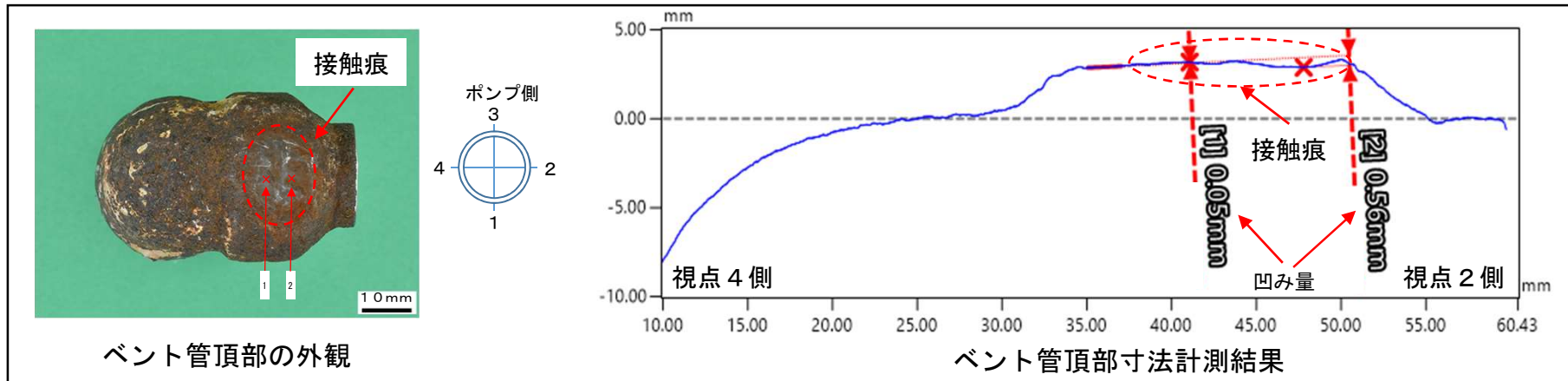


B-FWBP 入口配管ベント管 外観観察結果 (1/2)

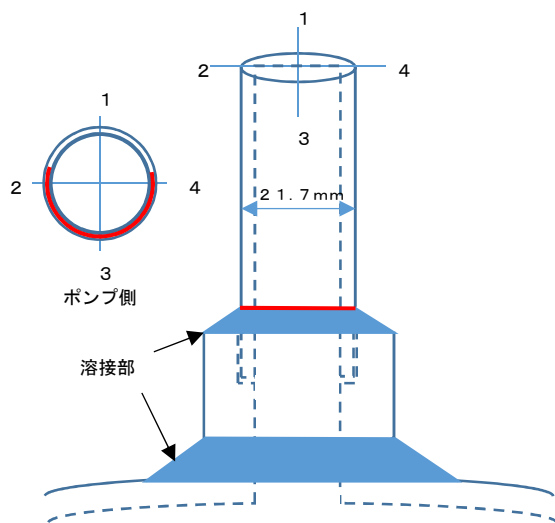
ベント管頂部および上部架台底部の接触痕について



- ・ 観察結果
ベント管頂部および上部架台底部に接触痕を確認した。
ベント管頂部に0.56mmの凹みを確認した。
上部架台底部に、たて約10mm、よこ約15mmの接触痕を確認した。

B-FWBP 入口配管ベント管 外観観察結果 (2/2)

外面浸透探傷試験結果



視点 1



視点 2



視点 3



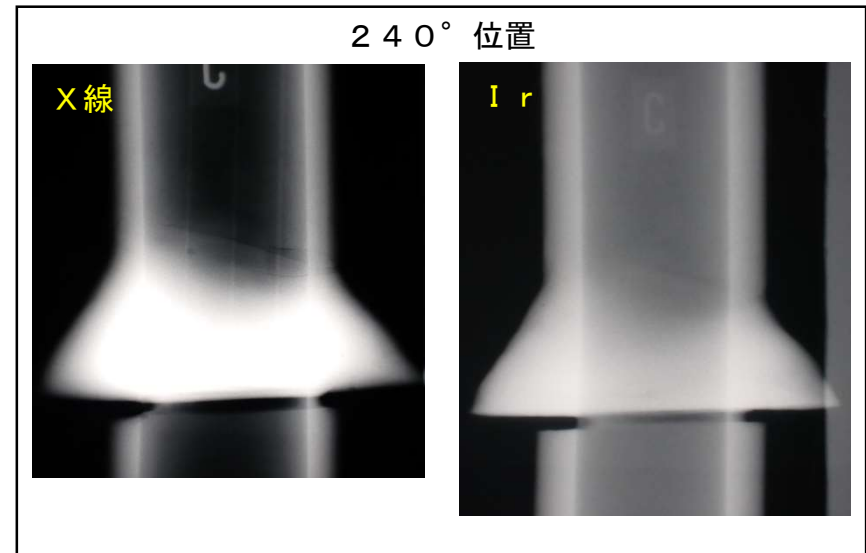
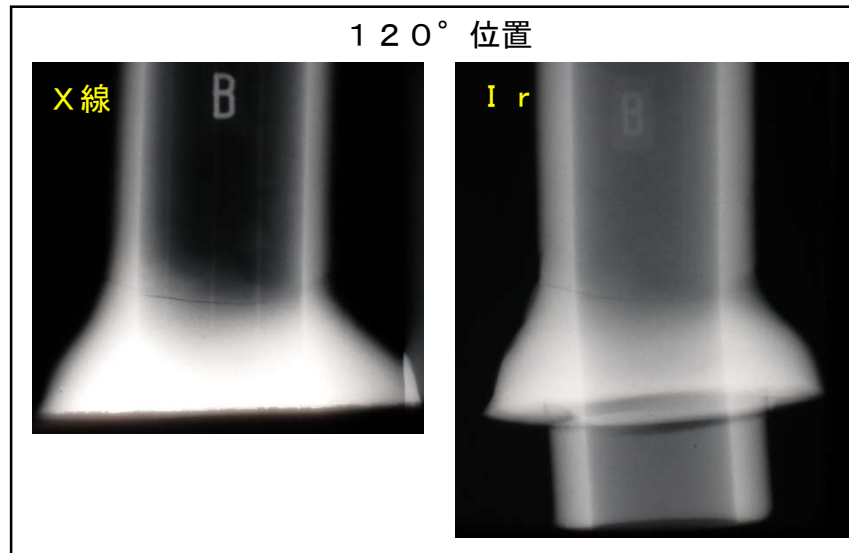
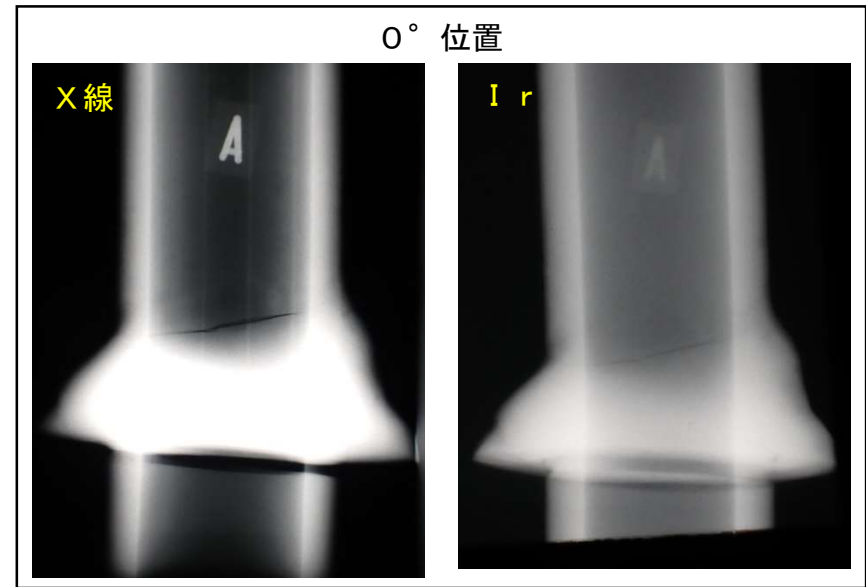
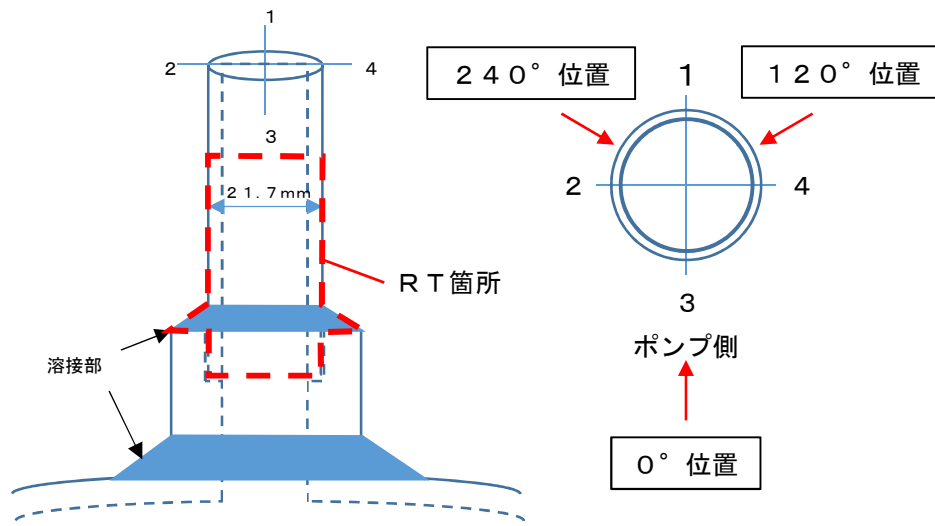
視点 4



・観察結果

ソケット溶接止端部に沿って、視点 2→視点 3→視点 4にかけてほぼ半周にわたる連続した浸透指示模様が確認した。
浸透指示の長さ：円周方向に約 35 mm を確認した。

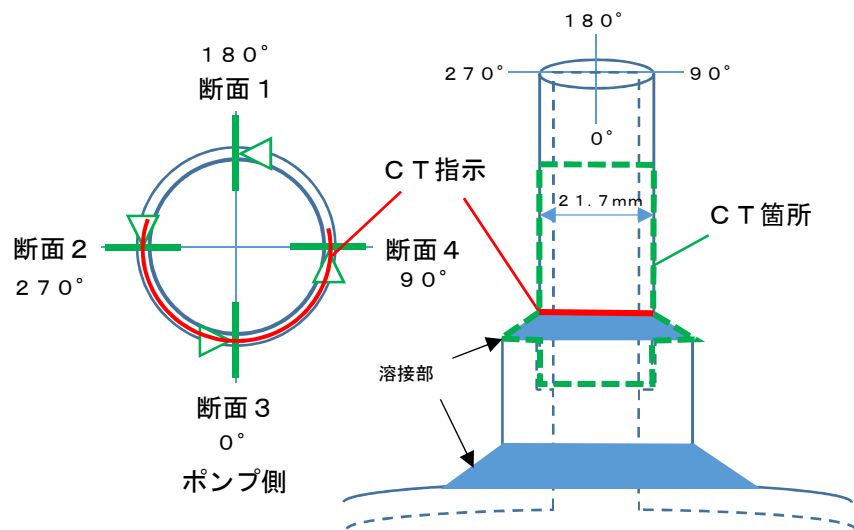
B-FWBP 入口配管ベント管 放射透過試験 (RT) 結果



・確認結果

溶接部にブローホール、スラッグの巻き込み、アンダーカット、溶け込み不良、融合不良がないことを確認した。

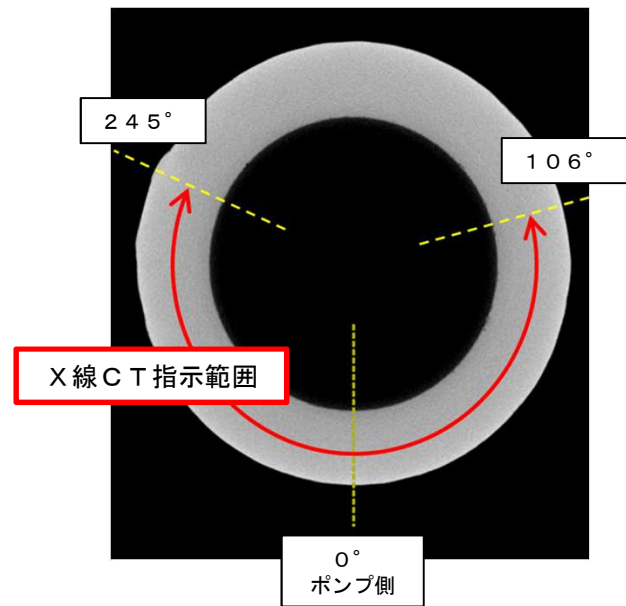
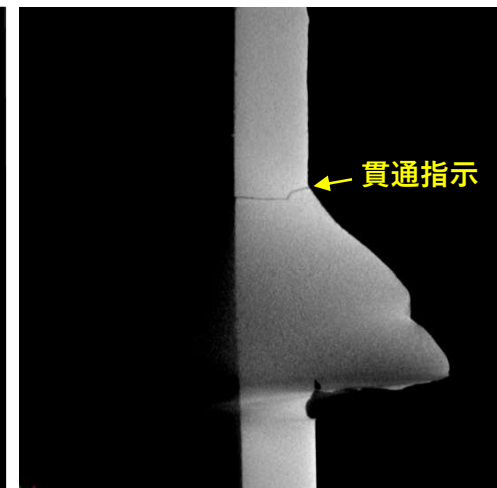
B-FWBP 入口配管ベント管 X線CT結果



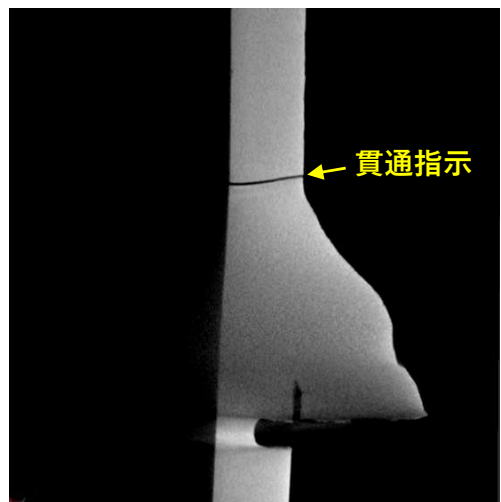
断面 1



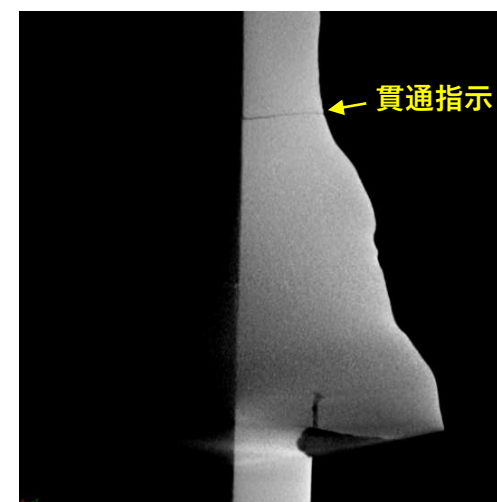
断面 2



断面 3



断面 4

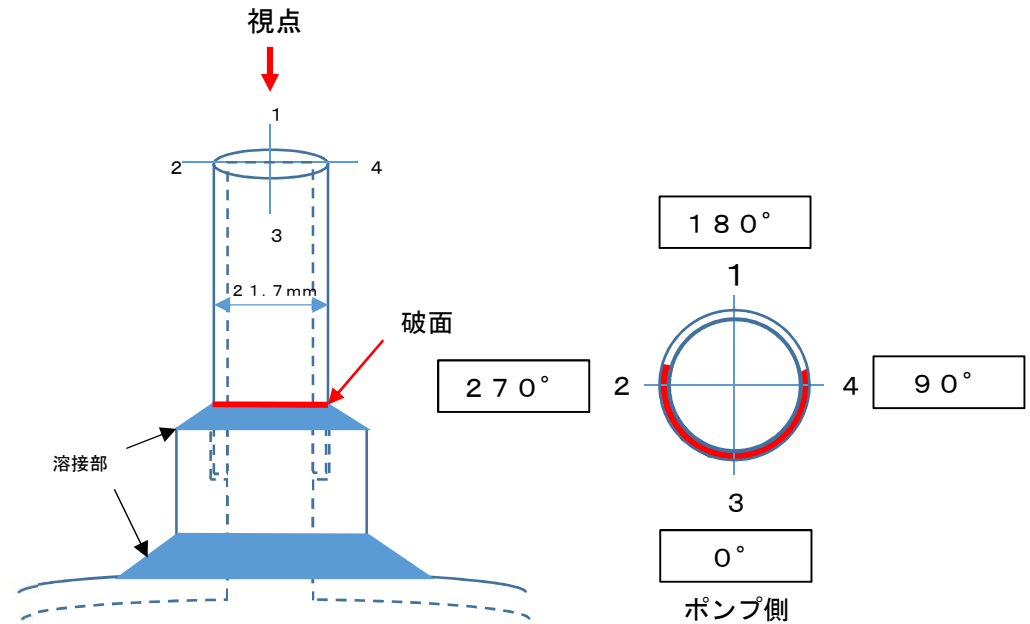
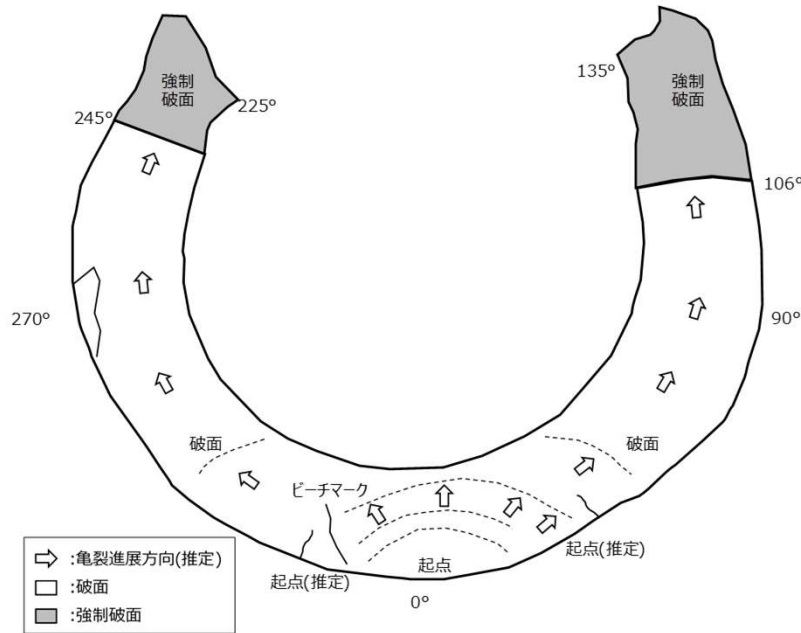


・ 観察結果

浸透探傷試験で確認した指示模様と同様の位置に約4.2mmの貫通指示を確認した。

溶接部にブローホール、スラッグの巻き込み、アンダーカット、溶け込み不良、融合不良、応力腐食割れがないことを確認した。

B-FWBP 入口配管ベント管 破面観察結果



・観察結果

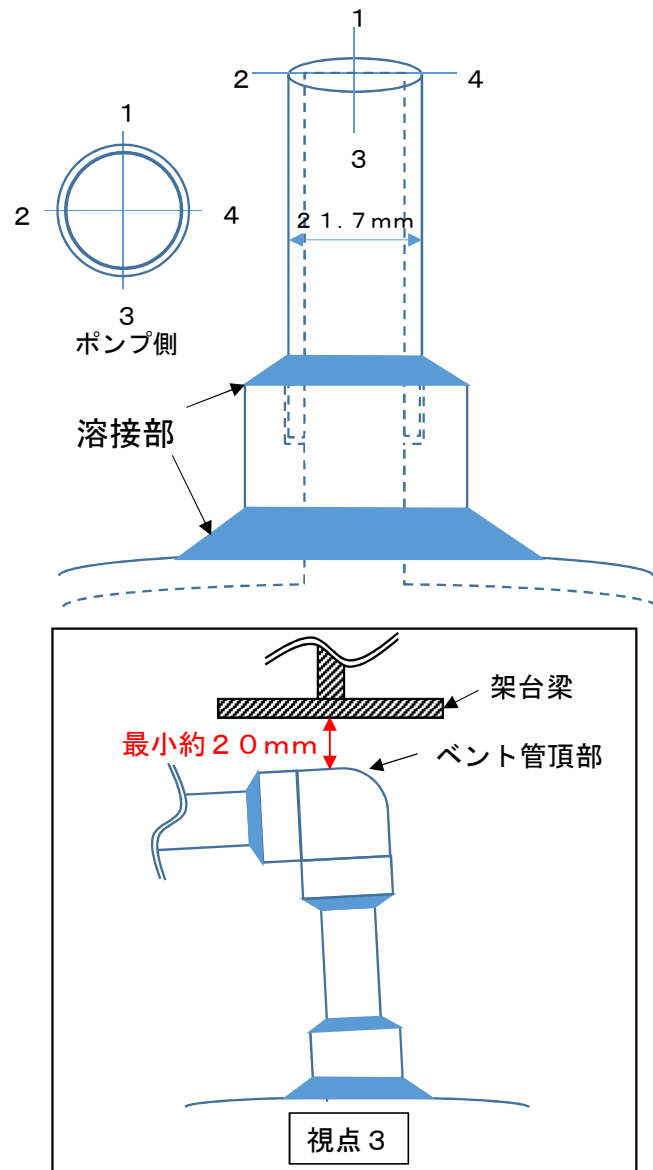
以下の破面の特徴を観察した。

- ・破面が概ね平坦で顕著な凹凸がない。
- ・き裂の先端が揃っており、直線的に進展している。
- ・破面近傍に塑性変形の様相が認められない。
- ・確認されたビーチマークの数は4本である。
- ・延性破壊の特徴であるディンプルは認められなかった。
- ・応力腐食割れの様相は認められなかった。

・考察

ビーチマークの形状より、0° 付近の外表面を主起点としてき裂が発生し、90° および270° の両方向へ進展したと考えられる。

類似箇所の外観観察結果（C-FWBP入口配管ベント管）



視点1



視点2



視点3



視点4



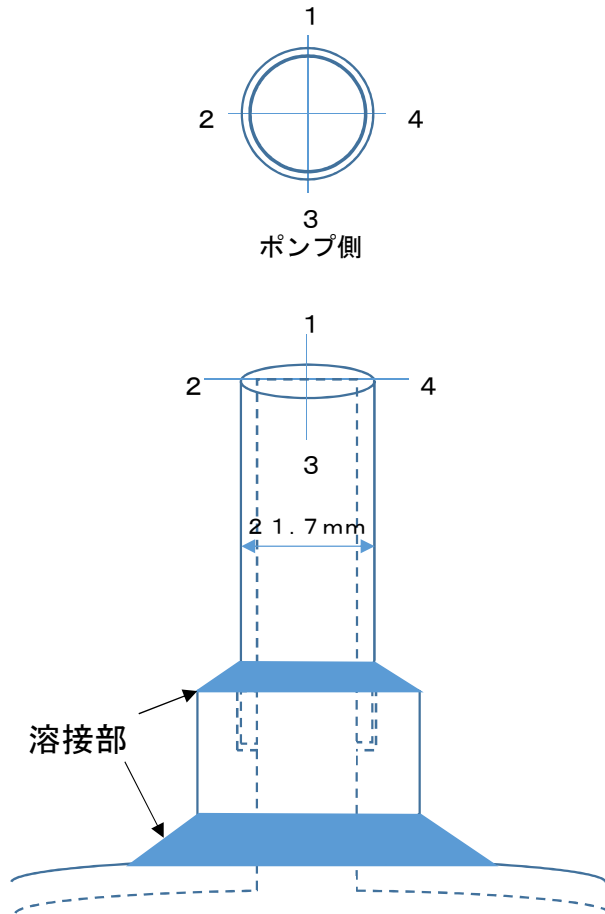
・観察結果

ベント管に外面腐食は認められなかった。

周辺設備との干渉はないが、最も近接しているところはベント管頂部であった。

なお、ベント管頂部と上部架台底部の隙間は確保されており、異常は認められなかった。

類似箇所での浸透探傷試験結果（C-FWBP入口配管ベント管）



視点 1



視点 2



視点 3



視点 4



- ・点検結果
異常なし。